

計画策定の趣旨(要旨)

「暮らし満足度日本一」を目指し、本県の持つ様々な宝・ポテンシャルをより一層磨き上げてきたこれまでの実績をベースとして、今後、加速する少子高齢化や産業の国際競争の激化など、県政の課題克服に向けてしっかり取り組んでいくとともに、本県がさらにステージアップするために追い風となる様々なチャンスをつかみ、本県の振興や発展につなげていく必要がある。こうしたことを踏まえ、「新 輝け！ちば元気プラン」を改定し、千葉県が目指す姿(基本構想)の実現に向け、総仕上げとなる新たな総合計画を策定する。

計画の性格

県政運営の基本となるものであり、本県の基本的な方向を、総合的・体系的にまとめた県政全般に関する最上位の基本的かつ総合的な計画

時代背景と課題

- | | |
|----------------------|-----------------------------|
| 1 人口減少・少子高齢化 | 6 価値観やライフスタイルの多様化 新設 |
| 2 大規模災害等を見据えた防災・危機管理 | 7 ICT(情報通信技術)の進展 |
| 3 経済・社会のグローバル化 | 8 広域道路ネットワークの形成 |
| 4 安全・安心・治安 | 9 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催 |
| 5 環境保全・持続可能性 | 10 地方財政・地方分権 |

基本理念

千葉は元気の発信源。首都圏、そして日本をリードし、県民が「暮らし満足度日本一」を感じ、誇れる千葉を実現します。

3つの基本目標

I 安全で豊かな
くらしの実現

<目指す姿>

- 1 自助・共助・公助でつくる災害に強く様々な危機に対応できる地域社会
- 2 治安が行き届き、安全で安心して暮らせる地域社会
- 3 健康で生き生き暮らせる地域社会
- 4 心豊かに元気に暮らせる地域社会
- 5 豊かな自然を継承し、持続的に発展できる地域社会

II 千葉の未来を担う
子どもの育成

<目指す姿>

- 1 安心して子どもを生み育てられる地域社会
- 2 郷土を愛し自立した健康な子どもの育成

III 経済の活性化と
交流基盤の整備

<目指す姿>

- 1 国内外の多くの人々が集う魅力ある地域社会
- 2 挑戦し成長し続ける産業
- 3 働く希望や多様な働き方がかなう社会 **新設**
- 4 地域を支える力強い農林水産業
- 5 誰もが住みたくなくなるようなまちづくり

県づくりの方向性

- 1 県づくりの基本的考え方
これまでの4つの「拠点都市」の発展を、圏央道やアクアラインなどの新たな交流軸をはじめとした広域的な幹線道路ネットワークと、これに繋がる道路の整備を進めることで、人・物の流れを全県的に波及させ、各地域の活力を確保する。
- 2 地域の方向性
地域の特性・可能性を踏まえた5つのゾーンを設定し、それぞれの地域の主な方向性を示す
①東葛・湾岸ゾーン
②空港ゾーン
③香取・東総ゾーン
④圏央道ゾーン
⑤南房総ゾーン

I

II

III

12の政策分野

1 自助・共助・公助が連携した防災先進県づくり	2 暮らしの安全・安心を 実感できる社会づくり	3 健康で生き生きと自分らしいくらしを実現する社会づくり	4 文化とスポーツで輝く社会づくり	5 みんなで守り育てる環境づくり	1 子どもと子育て世代への強力サポート体制づくり	2 世界に通じ未来を支える人づくり	1 国内外の多くの人々が集う魅力ある県づくり	2 挑戦し続ける産業づくり	3 経済の活性化を支える人づくり	4 豊かな生活を支える食と緑づくり	5 活力ある県土の基盤づくり
危機管理 防災	消費生活 交通安全 防犯	地域社会 福祉 健康	スポーツ 文化	環境	子育て	教育	交流	産業	人材育成 雇用	農林水産業	県土基盤 交通

新設

次世代につながる輝くちばへの
チャレンジ

- ～人口減少・少子化への歯止め～
- ～超高齢社会への対応～
- ～県民みんなの活躍～
- ～交流基盤・ネットワークの整備・活用～
- ～国内外への魅力発信～